



# 評価方針

市立札幌開成中等教育学校



## 目 次

評価方針の目的 .....	3
評価の原則 .....	4
評価規準と評価項目 .....	5
形成的評価 .....	6
総括的評価 .....	6
DP評価の時期 .....	6
成績記録および報告管理システム .....	7
インクルーシブ評価（IAA: Inclusive Assessment Arrangement） .....	7
学問的誠実性と不正行為 .....	8
参考文献 .....	9

## 評価方針の目的

評価方針は以下を目的としている：

- 期待される実践を確立し統一する。
- 学校コミュニティの関係者（生徒、教師、補助教職員、保護者、スクールカウンセラーなど）へ、評価で使用される規準や実施方法を周知する。
- すべての評価がすべての教職員によって公平かつ一貫性をもって実施され、判断されることを保証する。

## 評価の原則

札幌開成中等教育学校の評価方針は、国際バカロレア機構のディプロマプログラム評価方針に示されているガイドラインに従って作成されている。

1. すべての評価は、各教科の学習プログラムに不可欠な部分であり、計画的に実施される。
2. 形成的評価は、生徒の進捗を把握し、教師の今後の指導に役立てるとともに、生徒自身の学習にも役立てる。すべての評価は、これまでに行われた学習を反映するように適切に計画される。
3. 評価計画表を学期の初めに生徒・保護者へ配布し、重要な評価日程を周知する。
4. 学習単元、教科ごとの学習目標、体験、評価に関する情報を含む各教科のシラバスの内容を全生徒に提供する。
5. 評価課題は慎重に設計され、適切な学習リソースを確保し、生徒が十分な準備をできるよう配慮する。すべての生徒が校内またはオンラインで簡単にアクセスできるよう、十分なリソースを用意する。さらに、学校、公共図書館や大学図書館のような外部の情報源、オンラインリソースを利用して電子的に有用なリソースを見つける方法を生徒にアドバイスする。

6. 生徒の進捗管理と学問的誠実性のため、デジタル検証ツールを使用して生徒の成果物の類似性を検証する。これは、「学問的誠実性の方針」と「Student Handbook（生活のしおり）」に記載されている、学業に対する誠実さに対する当校の姿勢を反映したものである。

7. 通常の授業時間内に実施する（DP のアセスメントウィークを除く）。

## 評価規準と

## 評価項目

すべての評価項目は基準に基づいており、IBO によって指定された、あらかじめ決められた科目別の基準に照らして採点され、生徒の総合的な達成度を判定します。評価方法は、筆記試験だけでなく、口頭発表、研究プロジェクト、プロセスジャーナル、パフォーマンス、マルチモーダルプレゼンテーションなど多様な形式が含まれる。その目的に基づいて、評価項目は形成的または総括的に分類される。DP のアセスメントの詳細に関しては、「ディプロマプログラム（DP）における評価の手順」を参照すること。

## 形成的評価

形成的評価は、生徒の総括的評価課題に直接貢献するものではないが、総括的評価に必要な知識とスキルを育成し、強化する。形成的評価には、教師からのフィードバックによってサポートされる自主的な学習スキルの向上も含まれる。これは足場となる学習であり、生徒の学習進捗を確認する。形成的評価の課題は、評価の時点で生徒が教科固有の学習成果を達成する能力を把握し、反映させる必要がある。

## 総括的評価

総括的評価は、正式な成績報告に使用され、生徒の高校卒業資格に関する重要な評価項目である。また、異なる地域や国の学校間で生徒の達成度を区別し、比較することもできる。これは、教師、生徒、保護者の教育改善に役立つ。

## DP 評価の時期

評価スケジュールは、IB の公式評価スケジュールを考慮し、日本の学年度に沿って作成される。学期末・中間評価は、IB 公式の最終試験と同じ条件で実施される。これにより、生徒が DP の試験手順に慣れ、試験への抵抗力を養うことができる。生徒が習得した知識や能力を最大限に発揮できるよう、試験日が集中しないよう最大限の努力を払う。

## 成績記録および報告管理システム

全教科において、各単元内の各評価項目の成績を個別に安全に記録・管理する。ただし、各学期末の各教科の最終成績（全国評定）の累計は、「単位支援システム 賢者」というソフトで管理している。総合成績は、学校のカットポイント・システムに基づいて、ソフトウェアによって自動的に生成される。

## インクルーシブ評価

インクルーシブ教育は IB の理念の中心にあり、包括的な教育を重視している。札幌開成中等教育学校はこの理念を守り、すべての学習と学習評価は全生徒にとって公平な条件のもとで行われる。これは、一時的、長期的、永続的な障害、病気、学習上の困難を抱える生徒にも適用される。これは本校の特別支援教育ハンドブックに明確に記載されている。

すべての評価において、特別支援が必要な生徒のための支援措置は、ディプロマ・プログラムの評価手順のセクションに記載されている手順に従って行われなければならない。

ディプロマ・プログラム・コーディネーターは、IB インクルージョン・ポリシーに従い、関連するすべての試験において、IB が承認したインクルーシブ評価を提供する責任を負う。

## 学問的誠実性と

## 不正行為

学問的誠実性はIBの探究型学習の根幹をなす重要な価値観である。札幌開成中等教育学校は学問的誠実性の理解と実践を促進することを約束する。当校では、全教科において「学問的誠実性」を維持する方針を定めている。これにより、生徒の作品の信憑性を確認することができる。剽窃、共謀等の不正行為が発覚された場合は、IBの学問的誠実性に関する方針に記載されている通り、厳重に対処する。

# 参考文献

International Baccalaureate Organisation. (2010). *Guidelines for developing a school assessment policy in the Diploma Programme*. Retrieved from [https://resources.ibo.org/data/d\\_0\\_dpyyy\\_ass\\_1101\\_1\\_e.pdf](https://resources.ibo.org/data/d_0_dpyyy_ass_1101_1_e.pdf).

International Baccalaureate Organisation. (2015). *Diploma Programme: From principles to practice*. Retrieved from [https://resources.ibo.org//data/d\\_0\\_dpyyy\\_mon\\_1504\\_1\\_e.pdf](https://resources.ibo.org//data/d_0_dpyyy_mon_1504_1_e.pdf).

International Baccalaureate Organisation. (2016). *Programme standards and practices*. Retrieved from [https://resources.ibo.org/data/g\\_0\\_iboxx\\_amo\\_1401\\_2s\\_e.pdf](https://resources.ibo.org/data/g_0_iboxx_amo_1401_2s_e.pdf).

International Baccalaureate Organisation. (2018). *Diploma Programme Assessment procedures*. Retrieved from [https://resources.ibo.org/data/DP\\_AP\\_2018-en.pdf](https://resources.ibo.org/data/DP_AP_2018-en.pdf).

National Institute for Educational Policy Research. (2015). *Hyoukakijyun no sakusei, Hyoukahouhounado no Kufuukaizen no tame no Sankoushiryou*. Retrieved from <http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html>.



Sapporo Kaisei Secondary School

1-1 Kita 22 Jo Higashi 21 Chome

Higashi Ward, Sapporo

Hokkaido, Japan

065-8558